

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年4月5日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年12週(03月21日～03月27日)

山梨県内流行情報

各保健所のインフルエンザの定点あたりの報告数は減少しています。5つの保健所(支所)管内のうち、先週に引き続き3つで警報レベルとなっています。峡南保健所管内と富士・東部保健所管内では、流行の終息傾向となっています。引き続き手洗いうがいの励行、バランスのとれた食事等を心がけ、インフルエンザの感染予防に努めましょう。また、できる限り人混みを避け、体調が悪い時は無理せず十分な休養を取り、早めに医療機関を受診するとともに、咳エチケットなどの配慮も大切となります。

また、先週に引き続き、中北保健所峡北支所管内において、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベルで流行しています。報告数が減少していますが、一般的な予防対策である手洗いうがいの励行など予防策の励行を心がけるとともに、発熱・咽頭痛・莓舌などの特徴的な症状が現れたら早めに医療機関を受診しましょう。

【今週の警報】:インフルエンザ(中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内)、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(中北保健所峡北支所管内) / 【今週の注意報】:なし

富士・東部管内流行情報

インフルエンザの報告数は少なくなってきていますが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が増えています。手洗いうがい・マスク着用の徹底、加湿器などで湿度を保つなどの感染予防に努めると共に体調が悪い時は無理をせず早めに医療機関を受診しましょう。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	64521	14.22	599	0.21	643	0.22	5737	1.98	14093	4.86	930	0.32
山梨県	450	11.25	3	0.13	-	-	51	2.13	81	3.38	4	0.17
中北	164	12.62	3	0.38	-	-	8	1	40	5	2	0.25
中北峡北	124	15.5	-	-	-	-	22	4.4	6	1.2	2	0.4
峡東	79	11.29	-	-	-	-	4	1	6	1.5	-	-
峡南	23	7.67	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	60	6.67	-	-	-	-	17	3.4	24	4.8	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	60	0.02	873	0.3	990	0.34	20	0.01	41	0.01	2423	0.84
山梨県	-	-	6	0.25	7	0.29	-	-	-	-	3	0.13
中北	-	-	-	-	2	0.25	-	-	-	-	1	0.13
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	2	0.5	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	6	1.2	3	0.6	-	-	-	-	2	0.4
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	4	0.01	305	0.47	3	0.01	14	0.03	160	0.36	4	0.01
山梨県	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	12週		11週		10週		9週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	減少しています	平年並みです	11.25	450	21.03	841	33.83	1353	36.73	1469
RSウイルス感染症	やや減少しています	平年並みです	0.13	3	0.21	5	0.08	2	0.25	6
咽頭結膜熱	-	-	-	-	0.04	1	0.04	1	0.08	2
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	2.13	51	3	72	4.71	113	4.63	111
感染性胃腸炎	横ばいです	平年より少ない発生数です	3.38	81	3.71	89	3.46	83	4.33	104
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.17	4	0.08	2	0.13	3	0.17	4
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	減少しています	平年並みです	0.25	6	0.46	11	0.25	6	0.21	5
突発性発疹	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.25	6	0.29	7	0.21	5
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	0.08	2
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.13	3	0.13	3	0.21	5	0.08	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.33	3	0.44	4	0.33	3	0.33	3
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	0.1	1	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	0.2	2	0.2	2	0.4	4
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	17
二類感染症	結核	中北	男	77